

2月定例会の概要

会期 2月22日～3月18日の25日間

会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
(行政改革基本計画等に関する特別委員会)：3月9日
(I-R対策特別委員会)：3月17日

質問議員 18人

3月4日(金)	
藤山 将材	奥村 規子
3月7日(月)	
秋月 史成	佐藤 武治
多田 純一	鈴木 徳久
藤本眞利子	山田 正彦
高田 由一	浦口 高典
3月9日(水)	
中西 峰雄	中 拓哉
堀 龍雄	谷口 和樹
玉木 久登	中西 徹
片桐 章浩	井出 益弘
3月8日(火)	
3月10日(木)	

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	34件	令和4年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件(//)	27件	和歌山県個人情報保護条例の一部を改正する条例等	可決
その他案件(//)	13件	令和4年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
知事専決処分報告(//)	2件	令和3年度和歌山県一般会計補正予算	承認
意見書・決議	6件	ロシアによるウクライナ侵略について抗議する決議 高年齢者の雇用を促進するための環境整備を求める意見書 国民の祝日「海の日の」7月20日への固定化を求める意見書 介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化等を求める意見書 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書 衆議院議員選挙制度における格差是正方式の見直しを求める決議	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

令和4年度新政策

問 新政策の基本的な考え方と意気込みについて伺う。

答 令和4年度は二つの政策を柱として、新たな施策を展開します。一つ目の柱は「新しい世界で飛躍する和歌山」であり、あらゆる分野におけるDXの推進や新しい産業の創出に取り組みとともに、移住促進、企業誘致を加速させます。

二つ目の柱は「飛躍を支える基盤づくり」であり、保健医療行政の強化、地域医療・福祉の充実、防災・減災対策の推進、和歌山の未来を切り拓く人材育成等に取り組むとともに、発展の基盤となる道路ネットワーク等の整備を引き続き進めていきます。

この難局を乗り越え、ポストコロナの新しい世界に挑み、和歌山を力強く飛躍させるため、全力で取り組んでいきます。

「新しい資本主義」を踏まえた成長戦略

問 「新しい資本主義」を踏まえた本県の成長戦略について、知事の所見を伺う。

答 「成長と分配の好循環を実現すること」国において、あらゆる産業におけるデジタル化や起業支援の拡充等により県内産業の支援を図ります。また、I-R誘致や宇宙関連産業、ICT企業の誘致・集積などにより新産業を育成していきます。さらに、ピ

ビジネス環境や生活環境の強みを生かし、本県への企業誘致や、製造業の国内回帰を促した工場誘致など、本県に投資を促す政策を積極的に進めていきます。また、少子化対策や社会的弱者への政策の充実も図っていきます。

和歌山型衛星プロジェクト構想

問 本県でも宇宙関連産業育成のため、「和歌山型衛星プロジェクト」を立ち上げてはどうか。

答 県主導の衛星プロジェクトにつきましては、ニーズや採算性を考慮し、自前で衛星を持つべきかを研究する必要があります。

県としては、初号機の打上げを機に、今後の計画も踏まえ、宇宙関連産業の企業誘致や県内企業の参入促進等、地元経済の好循環を生み出す取組を実施します。

I-R誘致

問 I-Rの資金調達に関わるクレディ・スイスによる不正預金問題の調査報道を受け、経営状況や資金調達への影響をどう考えるか。

答 報道によりますと、問題とされた口座の90%は既に閉鎖または閉鎖手続に入っており、残りもチェックしたと記載されています。

報道以降も、業務活動や銀行免許等に影響を与えたなどの事実はなく、和歌山I-Rへの影響も、現時点では特段ないものと考えます。

和歌山県の価値向上に向けた取組

問 新政策として「変化する世界への挑戦」を掲げている中で、和歌山県の価値向上の取組について伺う。

答 産業のデジタル化等により県内産業を強化し、また、I-Rや宇宙関連企業・ICT企業の誘致、集積等により新産業を育成することが大事です。

今後も、成長を促す投資に結びつくような政策を進めるとともに、成長と分配の好循環が生まれるように、全力で取り組んでいきます。

考古民俗博物館新館建設

問 紀伊風土記の丘資料館の再編整備の意義と目指す姿はどのようなものか。

答 施設の老朽化等の課題を抱えていることから、貴重な文化財を活用し後世に引き継ぐため、資料館の再編を県長期総合計画に位置づけています。古墳文化や考古学・民俗学の県内拠点として再編整備し、世界に向けた発信力のある博物館にしていきたいです。